

アメリカでつかむ

札幌西高等学校 普通科1年 丹野 朱莉

私がアメリカに行ってやりたいことはこれまで知らなかった価値観に触れることと、世界でいままさに起こっている問題を見ることだ。それによって日本だけでは気づけなかった新しい考え方を知りたい。

私の行動や意志決定は、自分で経験したこと、例えば本を読んだり人に会ったり、ときには映画を観てなど様々なものに影響を与えられている。しかし、その中でも人からの影響が最も大きい。例えば自分の周りにいる人や会ったことはないけれど憧れている人だ。

私は両親のおかげで同年代の友達だけでなく、全く違う職業、年齢の人と話す機会が多くある。その人たちのこれまでの話やこれからの話を聞くのは楽しい。また自分のことを考える機会になる。私の昔からの友人にこんな人がいる。その人は料理人になるという夢を持って高校に行かない道を選んだ。それは私にとって大きな衝撃だった。高校で学ばなければいけないことはたくさんある。しかし私はそれを聞いて自分と同年でこんな行動力があるんだということ、いろいろな道があるということを感じた。そして自分が何のために勉強しているかということをよく考え、私自身も今から将来のために何か行動していかないといけないと思うようになった。

私が将来やりたいことは今まで恐竜博士、宇宙飛行士などいくつかあったが今はプロダクトデザイナーだ。小学校高学年の頃に見たスティーブ・ジョブズの映画でジョナサン・アイヴというアップルのデザイナーに興味を持った。少ししか写っていなかったがなぜかその人が頭に残った。それまでもずっとモノを作るのが好きだった私はその人について調べるようになり徐々に将来デザイナーとしてモノを作りたいと思うようになった。具体的に何を作りたいかはまだぼんやりとしか考えられていない。

しかし私が考えているのはデザインはあらゆるところにあって生活の基になるもので見た目だけではない様々な要素で生活を豊かにしたり、余裕を与えたりする必要があるということである。

この考えを持つようになって今までカタチを作るだけの仕事だと思い込んでいたのが変わった。プロダクトデザインだけでも製造過程から材質、使いやすさまで考えなければならない。こんな仕事は他にはないと感じ、さらにやりたいと思うようになった。またこのように、私の頭の中で勝手に「デザイナーは見た目をかっこよく見せる人」と思い込んでいた。私の中には間違っと思いついてしまっているものがまだまだたくさんある。それは具体的に単語の意味だけではなく、もっと複雑な国際問題、政治の問題、歴史的な問題の考え方もだ。日本にずっといては日本に偏ってしまう。それは仕方がない。独自の考え方も必要がある。母がよく話をしてくれるのは20年以上も前のまだ若かったときに行ったモロッコのことだ。日本での常識がまるで変わったという。それほど大きな衝撃だったそうだ。それを聞くたびに海外に行かなければならない、もっと広い世界からものを見なければいけないと感じる。私は今札幌から少し離れたところから学校に通っている。世界規模で見ると僕が普段生活している場所はとても狭いが、高校になって中学校の時よりはかなり生活範囲が広がった。学校から自分の住んでいるところに帰ると今まで気づけなかつ

たその土地の良さがわかるようになった。自然の美しさなどである。普段気が付かない当たり前のことも常識が変わると新たな発見となるのだ。

常識だけではなく、価値観という点においてもデザインしたものが世界中の人々の生活に定着するという事は個人個人、国によっても価値観の差は大きいものにも関わらず受け入れられるということだ。そのようなモノをつくるためにも様々な価値観に触れることが必要だと思う。国によってもものに対する優先順位や見方は想像以上に違うと思う。アメリカには様々な民族がいるという時点でおそらく日本の特徴とは全く異なっているだろう。そういう特徴があるからアップルのよう先端技術と使いやすさ見た目などを両立させた製品を作れたのかもしれない。僕はアメリカに行って実際にその理由を知ることができると思う。また宗教の違い、文化・生活の違いがどれほど大きいか、また逆に生活の違いが人自体にどれほど影響を与えるかも知りたい。もし生活が人々に大きな影響を与えるのならば生活を豊かにする、つまりデザインすることで世界の異なる国、異なる生活をする人々を直接豊かにできる。これから時代が変化して行って AI が増えたり、大きな発明で社会が変わっても根本にあるのは一人一人の生活であるのは変わらない。私が将来したいことはそのように根本の生活をよりよくすることだ。

私が今心がけていることは、とにかくなんでも興味を持つ、やってみるということだ。海外に行って学ぶことは自分に大きな刺激になる。私はアメリカに行って起こっている問題や解決策について、自分の住んでいるところや世界について様々な角度から見れる力をつかみたい。